



シルバー通信

第 44 号 (平成 26 年度)

発行：大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会

連絡先 (理事長宅)：

〒567-0832 茨木市白川 3 丁目 2-2-901

TEL / FAX : 072-638-6546

ホームページ URL <http://sa-renkyo.sakura.ne.jp>

「一緒に挑戦してみましよう」

府SA連協 理事長 松本 勉 (茨木 20 期・福祉 IT)



平素より大阪府 S A 連協の活動に対しご協力とご理解を頂き、有り難く厚くお礼申し上げます。

馬には乗ってみよ、人には添うて みよ！

今年の干支の、馬にちなんだことわざです。いわゆる食わず嫌いで否定的な判断を下すよりも、“何事も体験したうえで評価をしたほうがよい” という意味だそうです。

日頃の地区での S A 活動は、どうしても従来からの活動を踏襲することになりがちですが、今年は何か新しいボランティア資源の習得に挑戦してみませんか。また従来からの活動の範囲の中でも新しい演目や作品に挑戦してみませんか。

また今年は、それぞれの地域での活動において他のボランティア団体との交流を更に広げてみませんか。もしかすると、このことが新しいボランティア資源の必要性の発見や習得に繋がるかも知れません。

SA 連協は、そうした地区の皆さんへ積極的に協力させていただき所存しております。

年々厳しい組織をとりまく環境！

現在の S A 連協の組織をとりまく環境は、年々厳しい状態になっております。それは、会員の皆さまの高齢化による S A 活動参加者の減少と新規入会者数の減少です。

歯止めをかけるには、会員の皆さまへの S A 活動への参加呼び掛けを周知徹底するとともに、特に新しい会員の皆さんの役割分担を明確に示して、新旧が一体となった活動を心掛けていきたいと思っております。

また連協の組織運営に携っ

て頂く役員の選出も大きな問題です。今年は新しい試みとして、どうしても役員候補者が埋まらなかった場合には、北、中、南の各ブロックから会員数に応じた形で役員構成を編成し、各ブロックから選出された役員候補者の互選によって新役員を選出する方式を、ガイドラインとして採用したことです。このことにより、役員選出の遅れによる組織運営の空白期間の解消を図りたいと考えております。

一緒に挑戦してみましよう！

組織の活性化には、新しく会員を迎えることが一番大切なことと思っております。そのためには、NPO 高大さんや ONCC (北部カレッジ) さんの養成講座修了者をただ待ち受けるだけではなく、できるだけ地域の行政やボランティア団体の協力を得ながら、一般の方を対象とした「ボランティア養成講座」を地区 SA 単独または近隣地区 SA と共同で開催し、私たち SA の活動に賛同していただくことが一番と考えております。

今まで出来なかったことが、一朝一夕にできるとは思いますが、少なくとも今年は実現に向かって、課題の洗い出しや整理が出来ればと思います。地区 SA の皆さま、一緒に挑戦してみませんか。

最後になりますが、会員の皆さまのご健康とご多幸を祈念して挨拶と致します。

事務局

「府 S A 連協組織のあり方を巡って」

事務局長 森田 一夫（とよなか 18 期・地活）

役員組成が難航する中で事務局長の職務を引き受けて、早や一年を迎えようとしています。その中で気付いたことを記します。

その一は、組織構成です。現行の渉外・企画・広報の 3 委員会体制ができた頃とは、状況が変わっていますので、改組が必要になっています。中でも渉外委員会は S A 養成講座が大阪府の事業であった時点では、カリキュラム編成についての相談、S A 称号認定とその更新についての作業を担当する等重要な役割を担っていましたが、今や高大との連絡調整が主となり、大半が理事長と重複したものになっています。また、新たにできた福祉 I T 部会、都市環境部会が広報委員会に属するというものになっています。

その二は、支援活動部のご尽力により歌体操が福祉施設でのボランティア活動を積極的にできる仕組みができましたが、おもちゃ部会等の価値ある資源を府連協としてもっと対外的に活用できないかということです。

各地区での活動も承知しています、我々自身のスキルを高めるためのフェスタの開催も有意義であります。内輪のものに止まっているのではないかと、連協として外にできるきっかけを作るべきではと考えています。

役員会では、組織の見直しをしてから来年度の役員選任をするか、新役員が決まってから検討するかが議論になりましたが、後者を選択しました。

府連協は、連合協議会ではなく、連絡協議会という指摘もありますが、その存在を有意義にするために、積極的な検討をお願いします。



渉外委員会

委員会活動報告

「この一年を振り返って」

渉外委員長 笹原 義正（吹田 高 1 期・世代）

1、高齢者大学校関係

① 高齢者大学校の S A 資格審査支援業務は残念ながら今年から無くなりました。また 25 年度の S A 講座生は 2 クラス合計で 34 名と非常に少なく受け入れ先の地区 S A としては入会者減少に歯止めが効かない状況となっています。何としても S A 講座生を増やす方策を高大と共同で考え出さないといけません。

② 「校友会」は同窓会連合・府 S A 連協・フェスト会・同期同好会の O B 4 団体にて構成され共存共栄を目的としたもので、毎月一回高大関係者を含めて会議を実施しています。高大のスポーツ交流会や高大文化祭等のビックイベントには積極的に参画参加しております。また、高大受講生に対する各団体への入会勧誘活動について足並みを揃えて行なっています。（ネット大阪追加）

2、大阪府北部コミュニティカレッジ関係

昨年、新しく開校した S A 講座に 44 名が受講しています。この方々は新規入会対象者となるうれしいニュースでした。5 月には北部ブロックの地区 S A の紹介を実施。今後も情報交換し合い好関係を構築します。

企画委員会

「年間計画によりそって」

企画委員長 中川 明子（いずみ 17期・地域）

連協理事会後に、企画委員会を開催（2ヶ月に1回の予定）が、今年度は共通の検討事項（ブロック交流会会議）が多く、企画委員会としての話し合いは計画通り進める事が出来なかった。

- ・**交流活動**：歌体操・おもちゃブロック交流会の開催にむけて話し合い情報交流を行ってきた。また、同様に歌体操・おもちゃのフェスタ開催にむけての話し合いも情報交流を行った。
- ・**フェスタ活動**：歌体操の総仕上げの「アクティブシニア歌体操フェスタ2014」は開催地を「北・中・南」順番で実施。今年度は南ブロックで、会場いずみSAに決まり実施に向けて進めている。（この広報誌が届くころは成功裡に終わっていると思う）
- ・**実施費用**：「ブロック交流会」は私たちの連協予算から「アクティブシニア歌体操フェスタ」は、助成金の活用で実施している。
- ・**新しい取組**：昨年3月実施の科学実験教室は希望者多く、2回目と泉市で7月に実施しましたが科学実験教室は参加出来ない人が出た。企画委員会では、科学実験教室の様な新しい取組みを年1回実施出来るよう考えて行く為に、各地区のイベント内容を調べる事となった。

広報委員会

「広報活動」

広報委員長 上山 乃婦子（堺 20期・世代）

広報委員会は、広報誌・ホームページ・福祉IT・都市環境の4つの部会から構成されています。部会の年間スケジュール（計画）に対する推進実績も4部会共有しています。府SA連協と地区SA（シルバーアドバイザー・一般会員）の架け橋となり広報活動を通じ、魅力ある地区活動知名度（認知度）アップ、スキルアップの促進を行い、広報を通じてSAファン入会、促進を行っています。

- ・**ホームページ部会**：ブログの閲覧件数が増えてきて地区の状況の大事なツールになっています。対外PR活動にはホームページ・ブログの充実を。
- ・**福祉IT部会**：授産施設登録が増えてきて、ホームページから問い合わせも増えました。
- ・**広報誌部会**：対内への活動情報はシルバー通信（広報誌）を年1回発行。対外には高大校友会誌「れいんぼー・絆」に年4回・7月、10月、1月、4月発行。
- ・**都市環境部会**：各地区単位の会員を増やし行政との繋がりを増やす事を進めています。

活動目標

- ・内部的には府SA連協と地区SA会員との架け橋となる広報活動。
- ・外部的にはSA活動の知名度の向上を目指した広報活動。
- ・タイムリーな情報はホームページ・ブログ情報の充実でタイムリー広報活動。

部会活動報告

歌体操部会

「歌体操 部会報告」

歌体操部会長 藤川 安高（吹田 19 期・都市環境）

歌体操も中央研修会での技術習得などがあり、各地域の実技もだんだんと向上しつつある、部会としても連協のマーク入りユニホームを着用して、毎月会議の後ブロック毎の実技の研修を行っている。

ブロック交流活動（北・中・南）の一環として研修会を実施して、ブロック内の交流を図り親睦を深めることが出来た。

また他のブロックを見学することにより地域の事情も知ることが出来た。

歌体操部会の主な活動

①歌体操部会（定例会）

4 月から、月 1 回開催し、部会員の情報交換・交流会・研修会を実施

②地区別ブロック交流会の活動内容

参加者（3 ブロック 334 名）

・南ブロック参加者（8 グループ 120 名）

25 年 8 月 30 日（金）13:00～15:30

（河内長野市千代田公民館）

・中ブロック参加者（3 グループ 77 名）

25 年 10 月 4 日（金）13:30～15:30

（門真市ルミエールホール）

・北ブロック参加者（6 グループ 138 名）

25 年 12 月 3 日（火）13:40～16:10

（箕面市箕面文化・交流センター）

③歌体操フェスタ 2014

26 年 3 月 14 日（金）11:00～15:40

（和泉市コミュニティセンター）

今後の課題

歌体操を地区に広めて行くためには、新旧の会員の交流をなお密にして、実技の向上を図ると共に、地域役員の歌体操を理解、協力する必要が欠かせない。



おもちゃ部会

「平成 25 年度おもちゃ部会報告」

おもちゃ部会長 島田 道子 (守口 14 期・世代)

伝承おもちゃ部会は、年間を通して、各地区の公民館、小学校、イベント等に於いて、おもちゃ教室又は展示 体験会を開催、子どもたち及び 保護者のみなさんと世代間交流のボランティア活動をしています。今年度の特長としては「おもちゃづくり」と「こども科学教室」を一緒に開催している事です。おもちゃ部会としては、技術のスキルアップ、並びに情報交換等の場として自前講師による勉強会を実施しています。

■従来教室 (中級)

★奇数月の第 3 火曜日

・ 13 : 00 ~ 15 : 00

(大阪市立生き生きエイジングセンター)

★今年度の作品

- ・ 5 月 UFO ・ 7 月 啼くくるくるつばめ
- ・ 9 月 ぶんぶんごま ・ 11 月 走れ、トナカイ
- ・ 1 月 蝶びっくり ・ 26 年 3 月 (未定)

■初級クラス教室

★偶数月の第 2 火曜日

・ 13 : 30 ~ 15 : 00

(大阪ボランティア協会等)

★今年度の作品

- ・ 6 月 鳴きぜみ、折り紙のオーム
- ・ 10 月 風車二種、12 月 飾り羽子板
- ・ 2 月 バルーン

■その他 イベント等

★25 年 7 月 21 日 (日) いずみシティパザ

・ こども科学教室&おもちゃづくり

★9 月 21 日 (土) 鶴見橋商店街

・ おもちゃ作り (商店街活性化イベント参加)



「鶴見橋商店街おもちゃ作り」

■各ブロック主催 (北、中、南)

「おもちゃづくり」イベントの開催。

★北ブロック 26 年 4 月 5 日 (金) 予定

・ さくらまつり (SA いけだ)

★中ブロック 25 年 11 月 3 日 (日)

・ 府立寝屋川公園フェスティバルに参加。
寝屋川公園 (SA 寝屋川)

★南ブロック 26 年 2 月 20 日 (木)

・ おもちゃ研修会作品を持ち寄り学び交流。
藤井寺市社協 (SA 藤井寺)

「こども科学教室&おもちゃづくり」

ホームページ部会

「SAニュース30」で見る府連協の活動

部会長 前田 正勝 (大阪市 20 期・福祉 IT)

“組織の紹介はホームページで、活動の紹介はブログで”という切り分けでスタートした地区の「活動ブログ」ですが、3年を経過し大きく成長しています。いまや地区の活動を見るツールとしてだけではなく、府連協の活動をも見る広報ツールとなっています。

今回はまずSA連協のホームページの概要をご紹介します、次に地区の「活動ブログ」に投稿されている府連協活動記事をご紹介します。

(1) SA連協のホームページの概要 (右図)

“ボランティア活動ポータルサイト”を目指していますが構成は次のようになっています。

- 1 は玄関口で、SA連協のロゴ
- 2 にはSAの目的や4つの活動を紹介
- 3 はSAからのお知らせ
- 4 では地区の「活動ブログ」を紹介
- 5 がSA連協ホームページの核になる部分で、SAメンバーのボランティア活動を5つの切り口で表示、検索
- 6 は「協議会のページ」
- 7 は24地区のホームページへのリンク
- 8 はSA養成講座を開講している2校の紹介
- 9 は新着情報
- 10 は関連した組織へのリンク

(2) 地区の「活動ブログ」で紹介されている府連協活動記事

府連協の活動についてもその模様を、行事に参加したメンバーが地区の「活動ブログ」に投稿しています。まとめである「SAニュース30」からその代表的なものを拾ってみました。

・アクティブシニア歌体操フェスタ2013

SAいけだ、SA高槻、SA吹田、SA門真の会、SA箕面・豊能、SAはびきの

・第2回子ども科学実験教室&おもちゃフェスティバル in 和泉



SAはびきの、SA堺、SA箕面・豊能
・第3回大阪マラソン2013
SAはびきの、SA堺、SA門真の会、SA吹田などなど、ここに挙げたのはほんの一例で、このほか中央歌体操研修会や、北中南のおもちゃフェスティバル、などの模様が参加者投稿の「活動ブログ」で紹介されています。

現在の月間の閲覧者数は、SA連協のホームページが約500回、地区の「活動ブログ」が約1200回です。両者が一体となってSA活動をPRし、会員や外部のみなさまに見続けていただけるページでありたいと願っています。

福祉 I T 部会

「福祉 I T 部会のボランティア活動」

部会長 榎本龍彌（いけだ 21 期・福祉 IT）

福祉 IT 部会は、ボランティア活動としてホームページで、大阪府内の授産施設の製品紹介を無償で行っています。

そのために、私たちは「福祉夢ひろば」のホームページを運営し、インターネット環境が備わった大阪市立総合生涯学習センターのネットワークラボで月 1 回の例会を持っています。

「福祉夢ひろば」のホームページに掲載している授産施設は 2013 年 12 月末で 26 カ所、授産製品ショップは 4 店になりました。昨年末と比べ、この 1 年間で授産施設が 2 カ所増えましたが、年度初めの目標値（授産施設とショップを合わせて 35 カ所）は未達に終わりました。

ホームページへの掲載に加え、各種イベント時にブースを確保し、授産製品の展示・即売も行っています。今年度は 10 月 20 日に万博公園で開催された初参加の「トラックフェスタ 2013」、11 月 23 日に大阪市立総合生涯学

習センターで開催された恒例の「総合フェスタ 2013」、2014 年 2 月 13、14 日にメイシアターで開催された「高大同窓会文化祭」で、授産製品の展示と販売の代行を行い、授産施設自身による出店と販売もしていただきました。いずれもかなりの売上を達成し、施設の皆様に喜ばれました。

また、大阪市立総合生涯学習センター主催の「ネットワークサロン」で「簡単にできるブログ」と題して入門講座（2013 年 6 月）とステップアップ講座（2014 年 1 月）を開催し、多くの方々に受講していただきました。これからもさらに活動を広げ、地域の多数の授産施設が参加されることを願っています。



雨天の中トラックフェスタ 2013 に参加



総合フェスタ 2013 のフリーマーケット

広報誌部会

「広報（広報誌）で SA ファンづくり」

部会長 大川 正彦（藤井寺 18 期・国際交流）

府 SA 連協会員は、平成 24 年実態調査で平成 25 年は平成 18 年比 85% 減 153 人。25 年度府 SA 連協課題として続き、広報誌部会のテーマともなる。ファンづくりの仕組み提案、どんな小さな事でも 1 年間続けば結果も出るのでは（継続は力）…

・提案① PR 用のチラシ

各地区 PR 用のチラシ作成（SA 連協チラシもリニューアル）一部提案も各地区作成に広報委員会推進機会が少なく途切れ、思ったほど成果出ず。HP 部会と連携作品を部会報告コーナーにアップ。又 HP 各地区ブログ 1 面に作品を載せて貰う。（下記掲載）

・提案② モデル地区のプレゼン

地区活性の為のモデル地区のプレゼン提案も推進機会が少なく 2 地区のみで終わる。
（SA 吹田・SA 高槻）

・提案③ 校友会同窓誌

校友会同窓誌「れいんぼー・絆」年 4 回（7/1・10/1・1/5・4/1）18 地区作成（3 地区諸般の事情で未投稿）
今年は大阪府 SA 連協多彩な地区活動として歌体操・おもちゃ・以外をテーマに作成。

・提案④ SA 連協シルバー通信

シルバー通信、コスト時間を視野に、今年も年 1 回に絞る。計画通り作成。（役員会、各委員会、部会年間総括テーマ）
※広報誌部会課題＝部会維持の為に最低各ブロックより 1 名確保。（地区の情報・傾向を提供）誰でも出来る様にマニュアル化（引継ぎ時も部会継続可能の為に）

	2013.4	2013.7	2013.10.	2013.12.	2014.3	2014.4.
計画	・校友会誌「絆」 ・シルバー通信	「絆」冊子完成	「絆」冊子完成	「絆」冊子完成	シルバー通信 完成	「絆」冊子完成
実績	理事会地区理事 案内・作成・配布	「絆」冊子 7/1 理事会で配布	「絆」冊子 10/3 理事会で配布	「絆」冊子 1/9 理事会で配布	シルバー通信 3/6 理事会で配布	「絆」冊子 4/3 理事会で配布



都市環境部会

「25 年度都市環境部会の活動報告」

樋渡 照男（高槻 19 期・地活）

(1) 岬町「大人の林間学校」に参加
部会のメンバーも待ち焦がれた学校への参加と私、個人としても六年間の再会を待ち望んだ訪問でもありました。小学校の古校舎を利用した懐かしい風景に参加者の健康を重視したカリキュラムを加えた室内と室外の授業のバランスが良くマッチして飽きさせず環境的にも最高の設定で 11 名が納得の学習内容でありました。

(2) 服部緑地への実務参加
服部緑地の活動も 4 年目を迎え、今年から指定管理者が変更になって初めての活動です。以前から花の苗や木の苗の、自家育成を行う庭園での活動を再開しました。6 月 1 日から 11 月 2 日まで 5 回に分けた講座に親子 35 名を募集、毎回楽しい笑い声とキラキラ光る眼が輝く内容で、自然の大切さと食育を兼ねた講座になりました。

(3) 舞洲、大阪市環境局の体験学習
大阪市環境局舞洲工場の見学の目的は東北の被災地から震災ゴミの受け入れを大阪市で受け持たれ、処理されておられる現場での有害物の有無や処分地舞洲での埋め立ての実情を直にお聞きする事でした。安全に 9 月末で、処理済である事を伺う事が出来ました。ゴミ受入から処分迄のガスや臭いや排水まで、被害を持ち出す事のない様に並々ならぬ努力をされている事に感謝さえしました。



「大阪市環境局舞洲工場」



「キッズファーム・プロジェクト（服部緑地）」

支援活動部

「地区支援活動」

支援活動部長 木場昭和子 (大阪 18期・健福)

支援活動部は歌体操ボランティアのスキルアップと高齢者介護施設での歌体操訪問活動の活性化を目的に取り組んできた。歌体操ボランティアのスキルアップについては、大きく分けて、中央研修会と地区研修会に大別される。

毎月1回開催される、中央研修会では3ヶ月に1度外部の専門講師の指導を受けている。その後を支援活動部の専任講師がフォローアップをして、地区SAにつなげていく。そのことにより、各地区から参加している40名の受講生のレベルが格段に上がりつつある。今では各地区での研修会もこの受講者の中から、選抜された地区の講師によって運営されているところが多い。各地区の高齢者介護施設での歌体操訪問活動もこの中央研修会の受講生を中心に活発に展開されている。14地区22施設の訪問活動に対して、交通費を助成するなどの支援を行っている。高齢者が増え、同じように認知症者が増え、介護施設も増加の一途をたどっている。

多くの歌体操の訪問活動が施設から要望される中で、支援活動の役割は大きく、その要望にいかに応えられるかが問われている。この支援活動部の高齢者介護施設への歌体操訪問活動は、その社会的貢献を国の機関(WAM)から認められて、国家予算からの助成基金を得て活動している。この助成金を有効に使い、中央研修会や地区研修会で、しっかりボランティア養成を行い、高齢者施設からの要望に応えることが支援活動部の使命だと思っている。



SA連協の発足当時から研鑽を積んでこられた先輩の方々の功績を汚すことなく、さらなる発展をして、皆さんの期待に応えるべく努力したいと思っている。

北ブロック

「北ブロックこの一年を振り返って」

北ブロック長 笹原 義正 (吹田 高1期・世代)

北ブロックは、SA高槻・SA茨木・SA箕面・豊能、SA吹田・SAいけだ・SAとよなかの6地区SAで構成されています。今年は次の3つの活動を紹介します。

1、5月30日に大阪府北部コミュニティカレッジの「健康づくりと福祉を学ぶ科(SA養成講座)の受講生に対して府SA連協及び北ブロックのSA高槻、SA茨木、SA吹田の3地区SAの紹介プレゼンテーションを実施し受講生より好評を博しました。

2、12月3日に北ブロック歌体操交流会を箕面文化・交流センターで開催。総勢138名の参加者で熱気にあふれ大いに盛り上がりました。

3、26年度春に北ブロックおもちゃ交流会をSAいけだ主催で目下企画中です。楽しいイベントですので皆さんも是非遊びに来てください。



中ブロック

「中ブロック交流」

中(副)ブロック長 木場 昭和子(大阪 18期・健福)

平成25年度の中ブロックは、10地区257名の会員数で構成されている。SA連協中ブロックの主な活動は、歌体操ブロック交流会、おもちゃブロック交流会に分けられる。

歌体操交流会は、10月4日(金)門真市文化会館(ルミエールホール)小ホールで開催された。SA門真の会の皆さんが、準備をして下さり、大阪市SA、歌体操部会員、その他、77名が参加をして大盛況であった。



門真市文化会館中

おもちゃ交流会は、SA寝屋川連絡会と合同で、11月3日(日)寝屋川公園フェスティバルに参加した。残念だったのは、あいにくの雨模様で、早めに終了した事である。

その他の活動としては、校友会広報誌「れいんぼー・絆」へ地区の活動内容等を投稿している。中ブロックとしては、石渡ブロック長(SA寝屋川連絡会)が、体調を悪くし、長期休養をされている。早くお元気になっていただきたいと全員が念じている。



寝屋川公園中ブロックおもちゃ交流会

南ブロック

「交流会での地域コミュニティを」

南ブロック長中川 明子(いずみ 17期・地福)

①南ブロック三役留任、南ブロック各理事、各委員会登録で25年度がスタート。

②第二回おもちゃフェスタ南ブロックで実施検討、提案を企画委員会に提案。

③第二回おもちゃフェスタ実施7/21決定。(予算なし縮小賛同地区で開催)会場いずみSA(10地区40名参加)。

④25年度南ブロック交流会実施。

歌体操SA河内長野主催8/30・120名
おもちゃSA藤井寺主催2/20・30名)

⑤歌体操フェスタ実施いずみSA会場
(3/14・23グループ320余名)

⑥大阪府:「アクティブシニアがあふれる大阪」事業をいずみSAが受けて実施。

「入門講座」平成26年2月7日(金)

・対象=シニア世代地域で世代間交流をこころざす方=講師育成

「実践講座」平成26年3月2日(日)

・対象 小学生以上対象に実践
(バルーンを使用、世代間交流を行う)

⑦府SA連協・役員人事検討会

26年度役員
人事南ブロック
役員推薦。


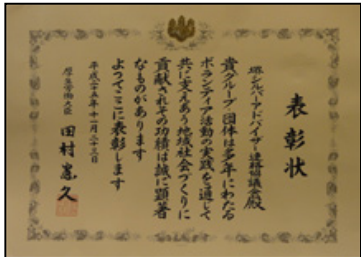



南ブロック理事

ピックス・ニュース

平成25年度表彰地区SA

※ SA連協にとって嬉しい事が有りました、三つの地区が表彰を戴いた、情報です。

<p>SA 門真の会</p>		<p>紅葉の美しい季節 11月28日(木)にNHKホールにて厚生労働大臣賞を頂き、会員の努力があつての事です。無理せずに体調管理に注意して活動する様に心掛けて、楽しくボランティア活動が出来る事を祈ります。</p> <p style="text-align: center;">厚生労働大臣表彰</p>
<p>堺SA連協</p>		<p>図らずも、結成25周年を迎える年を祝するがごとくに表彰をいただきました。先人達が蒔いてきた種が成果を生み出してきたことを認められたものとして、これからの活動の励みになります。</p> <p style="text-align: center;">厚生労働大臣表彰</p>
<p>SA ひらかた</p>		<p>先輩方の長年にわたるボランティア活動が社会に認められ、この度大阪府知事表彰を頂きました。これを励みに、これからの私達も、楽しく・生き甲斐を求めてボランティア活動をして参ります。</p> <p style="text-align: center;">大阪府知事表彰</p>

大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会 25年度スタッフ&会議風景



編集後記：あつという間の一年で、新年度を迎へる。高大同窓会も校友会という名の同窓会連合組織として再スタート。高大同期会、SAネット大阪も入会。北部コミュニティカレッジもSA北ブロックとの連携も進んでいる様で楽しみ。地区表彰に見られる様年々SAの評価が上がり、表彰・助成等が増えて来た。地域一番のボランティア組織を目指す地区SAをバックアップ。反面、会員の減少は続く一人一人がアドバイザーとし、企画立案市民にアピール、会員は減ってもSAのファンは多く次期会員見込み客、「不安でなく・ファン作り」を…広報誌部会 M.O